

2019年9月20日

No. 6 1 7

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

令和2年度畜産関係予算等要望活動

福島県畜産関係団体連絡協議会



福島県畜産関係団体連絡協議会（構成18団体、宗像実会長）は、9月9日に内堀雅雄県知事を始め県議会等へ来年度に向けて畜産関係予算編成の要望を行いました。

避難休業を余儀なくされた区域において避難指示解除が段階的に進んでいますが、避難生活の長期化により畜産農家の帰還による経営再開への道筋は未だ不透明であります。本県は東日本大震災からの復興・再生の途上ですが、TPP11やEPAの発効さらには日米貿易関係など先が見通せない将来への不安や戸惑いを感じ離農に歯止めがかからず、県内の生産基盤は非常に厳しい状況にあります。

脆弱化した生産基盤等の再構築を図るとともに本県の将来を見据え、夢と希望を抱いて安心して経営ができること、また、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していくことが喫緊の課題であり、これらを踏まえて以下の要望をしました。

1 畜産生産基盤の再生拡大対策

避難休業を余儀なくされている被災畜産農家の経営再開や意欲ある担い手の確保育成に向け、生産基盤である家畜の導入や施設・機械の整備に対する支援。原材料の高騰により収益性は悪化しており、加えて経営者の高齢化、後継者不足により、取り巻く環境は厳しい状況下にあることから、大震災により脆弱化した生産基盤を再生拡大するための積極的な対策。

- (1) 酪農生産基盤回復および酪農振興対策
- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 避難休業畜産農家経営再開支援対策
- (4) 次世代を担う若手農業者の育成対策
- (5) 畜産ICT機器および搾乳牛ロボット等導入支援対策

2 自給飼料生産基盤回復対策

除染が困難な牧草地等の回復・再生に向けた対策の強化および遊休農地等を利用した飼料作物の生産にあたり、土地の集約・再生に係る支援の強化。営農が再開された地域における生産組織等が行う自給飼料の生産、利用に対する総合的な支援。

3 堆肥等の処理・流通対策

安全性が確認されたものの風評等により畜産農家に滞留している堆肥については、堆肥運搬散布の助成やマッチングにより広域的な有機性資源の循環利用を促進し、農地除染後の地力回復を図るため積極的な利用を推進するなど、早急に滞留堆肥の解消に向けた対策。

4 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

県産畜産物は安全性を担保しているにもかかわらず消費者等にその取組みが十分に伝わらず適正な評価を得られない状況が続いており、首都圏を中心とした県外への流通が回復せず新規の販売先の確保が困難な状況にあることから、知事によるトップセールスやマスメディア等を有効に活用し、消費者のみならず流通・小売業者等に

対し検査体制・内容等の更なる周知に努めるなど、風評払拭のための対策の継続。また、本県畜産物の風評払拭と福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得およびHACCP導入に向けたきめ細かな支援。

5 魅力ある種雄牛造成及び第12回全国和牛能力共進会対策

優良な基礎雌牛の整備により繁殖基盤を強化するとともに、「福島牛」のブランド強化及び風評の払拭のためにも全国に発信できる種雄牛造成が急務であり、科学的手法を活用しこれまで以上に基幹種雄牛造成への取組強化。また、令和4年度鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向け、前回以上の成績をおさめることができるよう早期に各対策への支援。

6 産業動物診療獣医師の確保定着対策

本県の家畜疾病・衛生対策や食の安心・安全を支えている産業動物診療獣医師の高齢化が進み、加えて、新卒等新規参入者不足により適切な産業動物診療体制の堅持が困難な状況になっていることから、本県畜産業の維持発展に不可欠である産業動物診療獣医師の確保、定着に向け、より一層きめ細かな支援。

7 家畜衛生対策

海外で流行しているアフリカ豚コレラ等の悪性伝染病の侵入防止、国内で発生している豚コレラのまん延防止、さらに牛白血病をはじめとする感染症の清浄化など防疫体制強化への支援。

第60回県農業賞表彰式 畜産で3経営体が農業十傑に

第60回農業賞表彰式が8月27日、福島市杉妻会館で行われ、畜産では二本松市の上野広行さん、郡山市の古川一郎さんが農業経営改善部門で、下郷町の株式会社金子牧場（金子政彦社長）が復興・創生特別賞で農業十傑として表彰されました。

皆様のご苦労・ご努力に敬意を表するとともに一層の経営発展と地域農業への貢献をご期待し申し上げ、受賞者の方々をご紹介します。

上野広行さん

上野さんはこれまで、4Hクラブや自給飼料コンクール、肉牛共励会などでも多くの賞を受賞しており、事務所の壁には松平知事をはじめ歴代の知事からの賞状が目を見えます。祖父の代から酪農を営んでおり、昭和48年からホルスタイン種の肥育経営に転換し、昭和55年に本人就農後、ホルスタイン種、交雑種300頭まで規模拡大しました。平成16年から黒毛和牛肥育に徐々に切り替え、一部繁殖肥育一貫経営を開始しました。しかし、原発事故の風評により堆きゅう肥が滞留したことで頭数を半減せざるを得なくなり、販売価格が高い黒毛和牛に全面転換しました。

肥育素牛はすべて県産牛であり、和牛子牛7割、受精卵移植産子2割を市場導入し、残りは繁殖雌牛16頭から生まれる自家産素牛となっています。育成期の子牛には自給飼料をたっぷり給与し、30㎡に4～5頭と1群のスペースを広くとって、仕上げまで移動させないストレスの少ない管理を行っています。そのため、より高品質で増体に優れた肉牛が生産されています。今後は繁殖雌牛を30頭まで増やし、年間80頭の肥育牛を出荷できるよう、一貫経営のメリットを十分に生かしたバランスのとれた肉牛経営を目指しています。（県北農林事務所安達農業普及所）

古川一郎さん

古川一郎さんは郡山市の東部地区に位置する中田町柳橋で、和牛50頭の繁殖経営を営んでおり、1年1産を目標とする高い飼養管理技術により、年間40頭程度の子牛を販売しています。

自給飼料生産の取組としては、地域の農業者と組織する機械利用組合により、自身は9haの農地で牧草を生産しています。また、地元の稲作農家との協力により、稲WCSの生産利用も行いながら、飼料費の低コスト化を図り、中山間地域の農地活用と水田農業の維持発展に貢献しています。

また、自身が中心となる牛受精卵移植研究会では、優良牛の選定を行いながら、品質の高い子牛の生産に取り組み、併せて長男夫婦とも家族経営協定を締結し、経営上の役割分担を明確にしながら、経営発展に取り組んでいます。

さらに、郡山市農業委員や地元JAの理事なども長年務められ、地域の農業、特に畜産の発展と青年農業者の育成に力を注いでこられました。

古川さんは、今回の農業賞受賞を契機に「これからも畜産の振興に励み、若い農業者の育成と中山間地農業の発展に尽力したい」とおっしゃっていました。

（県中農林事務所農業振興普及部）

株式会社金子牧場さん

南会津郡下郷町の株式会社金子牧場は、金子政彦社長と妻の政委さん、長男隼一さん、三男和彦さんの4名で酪農に励んでいます。

東日本大震災直後、生乳納入先の本宮市の事業所が被害を受け、1ヶ月以上出荷できず、搾った乳を廃棄せざるを得ない状況となりました。また搾乳量削減のために給餌量を減らし、牛が体調を崩したり、獣害により粗飼料の自給ができないといった辛い経験もされました。

大変な時期もありましたが、平成28年に法人化するのに合わせ、国の畜産競争力強化対策緊急整備事業（畜産クラスター事業）を活用して牛舎を新築・拡張し、施設整備を行いました。その際、大型換気扇の導入により暑熱対策を強化し、衛生状態も改善することで牛の健康状態が向上

するとともに、濃厚飼料の自動給餌機を導入したことにより、作業の省力化も実現しました。さらに、地域の遊休農地を利用してチモシーを栽培することで良質な粗飼料を生産し、飼養頭数も徐々に増やししながら、現在は74頭を飼育し、360トンの高品質な生乳を生産しています。

金子牧場では、乳脂肪分の高いジャージー牛を20頭飼育しており、その生乳を使った加工品の製造にも力を入れています。平成21年に地元の「道の駅しもごう」向けにソフトクリームを製造したのが始まりで、今はヨーグルトやチーズなども製造し、地域の物産館や旅館などに出荷しているほか、インターネットを活用した個人販売も行っています。今後も本県の酪農業をリードしてくださることを期待します。（南会津農林事務所農業振興普及部）



上野広行さん



古川一郎さん



株式会社金子牧場 代表取締役 金子政彦社長

『第48回全国酪農青年女性酪農発表大会開催』

東北酪農青年女性会議代表として、県北酪農研究会安齋洋志さん出場！

福島県酪農業協同組合

令和元年7月11日(木)～12日(金)にかけて、鹿児島県鹿児島市「城山ホテル鹿児島」において、第48回全国酪農青年女性酪農発表大会が開催されました。7月に入ってから豪雨が続いたことにより、大会開催が心配されましたが、無事に全日程を終えることができました。本県からは東北を代表して県北酪農研究会 安齋洋志さんが「我が家の更なる飛躍を目指す効率酪農経営」と題し経営発表の部に出場され、本県より8名が応援に駆け付けました。

審査においては、日本酪農の将来に対する不透明感の打破をテーマとし、審査基準の中の収益性、安定性、発展性を最も重視したものでした。最優秀賞は逃したものの、安齋洋志さんの審査講評では、「高い所得率、省力化への取り組み、地域・団体との協調が評価され、さらなる効率的な酪農へ期待」と評価をいただきました。最優秀賞の九州、

審査員特別賞の北海道の発表者においても、同様に素晴らしい発表であり、高い自給率による低コスト生産による収益性と安定性、高い泌乳量における収益性、働き方改革や雇用促進の取り組み事例、規模拡大などの今後の目標の明確化がされた発表でした。

意見・体験発表では、東北酪農青年女性会議の山形県佐藤純子さんが最優秀賞を獲得し、都府県における家族酪農経営が喫緊の課題であると評価されており、非農家から酪農家へ嫁ぎながら、家族の病と向き合い、苦難を乗り越えて酪農をしている姿、家族との絆、苦難を乗り越えながらの地域活動への取り組みなどが高く評価されました。

発表大会後に行われた懇親会では、全国の酪友と更なる地域の酪農の発展を誓い合いました。

審査結果については次頁の通りです。

酪農経営発表の部

農林水産大臣賞 農事法人 霧島第一牧場 池田 雄太氏
(九州酪農青年女性会議)

審査員特別賞 千葉 澄子氏 (北海道酪農青年女性会議)

酪農意見・体験発表の部

最優秀賞 佐藤 純子氏 (東北酪農青年女性会議)

審査員特別賞 北村 克己氏 (中部酪農青年女性会議)



安齋洋志さん (右)

本県選手健闘!!

第31回東北地区牛削蹄競技大会開催

福島県装蹄師会

東北地区牛削蹄競技大会は、削蹄師の削蹄技術の向上と牛の能力増進に資することを目的として、毎年各県持ち回りで開催されています。第31回東北地区牛削蹄競技大会(東北地区装蹄師会主催)は、8月29日宮城県加美郡加美町の旧大崎西部家畜市場で開催され、東北6県から各県予選を勝ち抜いた17名の選手が参加しました。選手は、削蹄判断と削蹄競技の2部門で日頃の技を競い合い、本県から出場した武藤智哉さん(安達支部)が総合9位、目黒知希さん(田村支部)が総合14位と健闘しました。

今大会の優勝者は山形県の小角慶三さん、準優勝は宮城県の山内雄大さんでした。各県3名の総合得点により競う団体戦は山形県が優勝しました。

入賞の上位6名は、11月7日に茨城県水戸市の農業生産法人有限会社瑞穂農場鯉淵分場で開催される第61回全国牛削蹄競技大会に出場することとなります。

東北地区牛削蹄競技大会競技後は、茨城県装蹄師協会益子正氏より「基本削蹄と削蹄判断のポイントについて」牛削蹄師スキルアップ講習会が開催されました。牛骨模型を使用し骨格形成の視点から爪への影響の説明や基本削蹄の実演に、多数の削蹄師が熱心に聴講し、更なるスキルアップに役立つ講習となりました。



目黒知希さん (左) と武藤智哉さん (右)

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!



「強化」哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
URL: www.zenoaq.jp

ふくしまたまごフェスタ in ふくしまキッズ博 2019

福島県養鶏協会

東日本大震災後、原発事故による放射線の影響で福島県の子供たちの肥満率は、全国ワーストワンになった。『ふくしまキッズ博』はこの状況を少しでも改善しようと遊びと運動の機会を与え、心身のバランスのとれた健全な発育に寄与、そして子供たちが笑顔になれる場の創造を目標に、8回目の開催となった。

福島県養鶏協会(会長=三品清重(株)アグリテクノ社長)は7月27日(土)、28日(日)の両日、福島県営あづま総合体育館において『ふくしまたまごフェスタinふくしまキッズ博2019』を開催し、各種催事コーナーを設けて県内外から来場した家族等約3500組、計2万名に福島県産卵の安全性と美味しさ並びに鶏卵には小さい子供にとって必要な栄養素を豊富に含んでいるので積極的に摂取させて欲しい等PRした。

今年で3回目の開催となる『たまごフェスタinキッズ博』は、地元メディアを通じた告知や、会場内でのチラシ配りの効果もあって朝から大盛況となった。

会場の入り口ロビーでは、好きなたまご料理や一日に食べる個数、購入基準、保存方法などのアンケートへの協力を求め、回答者には新鮮たまご1パックのプレゼントが行われた。引き続き、『タマリエ アンケート』への参加を呼びかけ、全問正解者には新鮮たまご2パックとマンガ「長生きしたければ卵をしっかりと食べなさい」等のプレゼントを行った。

子どもたちに最も人気のある『ひよこと遊ぼうコーナー』では、獣医師が見守る中で、子どもたちが小さな命に直に触れ、目を輝かせていたのが印象的だった。

一方、体育館内メインステージでは、数多くの玩具メーカーが各種催事を行う中で、マイクを手にMCとの絶妙な掛け合いで参加者と会場を埋め尽くした聴衆の双方を楽しませつつ『タマリエ〇×クイズ』を行い、正解者には、新鮮たまご2パック、チキンラーメン、たまご料理の素や協会名入りボールペンなどのプレゼントを行うとともに、卵の正しい知識と卵の魅力をしっかりとアピールした。

また、会場奥のロビーでは、ひよこに扮した会員が子どもたちと『ひよことじゃんけんゲーム』を行い、勝利した子供たちには新鮮たまご、花火、ノートや色鉛筆をプレゼントするなどして、会場は終日熱気に包まれていた。



ひよこと遊ぼうコーナー

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)333-6211 2488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎(024)553-1667 678

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎(024)945-1306 6

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五十一
☎(024)526-7303 3

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川三五一
☎(024)577-3211 2

株式会社アスコ

本宮市本宮字下台18-12
☎(024)333-6311 2488

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

第32回みつばち慰霊祭

福島県養蜂協会

晴天に恵まれた8月5日、会津若松市の鶴ヶ城公園内みつばちの杜公園で第32回みつばち慰霊祭が執り行われました。

会長挨拶、献花の後、来賓と会員が焼香し、無数の小さな御霊に心から哀悼の意をささげました。

当日は午前の時間に係わらず気温も上昇しましたが、昭和63年に造成された公園内では大きく育った樹木が木陰を作っており、参加者達は木々の成長を福島県の養蜂の歴史に重ね、日々のみつばちの大きな恩恵に感謝していました。



長沼会長挨拶

第32回福島県はちみつ品評会、展示即売会

福島県養蜂協会

福島県養蜂協会主催、福島県、(一社)日本養蜂協会、(公社)福島県畜産振興協会の後援で第32回福島県はちみつ品評会が8月21日に福島県農業総合センターで開催されました。

はちみつ品評会は養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的に毎年開催され、本年は41会員から111本のはちみつが出品されました。

審査は事前に糖度を測定し、トチ蜜、アカシア蜜、その他蜜の3区分で7名の審査員(審査長：福島県畜産課森口克彦課長、日本養蜂協会柳下浩幸理事、福島県畜産振興協会宗像実会長、日本はちみつマイスター協会河村千影理事、福島県食品産業協議会池田善一氏、福島県消費者団体連絡協議会高野イキ子副会長、福島県養蜂協会会長沼久雄会長)が風味、色沢の審査を行い13の賞を決定しました。(下表

のとおり)

本年の農林水産大臣賞には郡山市の松岡休助氏のアカシア蜜が選ばれました。農林水産大臣賞をはじめ上位入賞したはちみつは、本年の不安定な天候にもかかわらず食味、色沢ともに優れており豊作の年と何ら変わらない高品質なものでした。

惜しくも入賞を逃したはちみつも県内生産では希少な花の蜜が多く、出品されたはちみつを展示即売した第14回農業総合センターまつり(9月6日、7日開催)では、多くの来場者で賑わいました。

併せて、農業総合センターまつりでは県内養蜂家の協力のもと7種類のはちみつの試食も行われ、県内で生産されるはちみつのおいしさや特徴をPRすることができました。

賞区分	花名	氏名	市町村
農林水産大臣賞	アカシア	松岡 休助	郡山市
福島県知事賞	トチ	時任真由美	三島町
福島県議会議長賞	アカシア	三浦 豊一	喜多方市
福島県議会議長賞	トチ	森 豊喜	南会津町
日本養蜂協会会長賞	トチ	山田 雄一	下郷町
日本養蜂協会会長賞	レンゲ	佐藤 正隆	二本松市
日本養蜂協会会長賞	トチ	近藤 義孝	会津若松市
福島テレビ社長賞	アカシア	鈴木 賢昭	磐梯町
福島県畜産振興協会会長	えご	渡辺 達雄	本宮市
福島県畜産振興協会会長	柿	丹治 章	福島市
福島県養蜂協会会長	アカシア	松本 吉弘	猪苗代町
福島県養蜂協会会長	アカシア	伊藤 身輔	会津若松市
福島県養蜂協会会長	アカシア	池澤 洋一	白河市



はちみつ品評会



展示即売会(農業総合センターまつり)

～農業総合センターまつりへ出展～

福島県畜産振興協会

令和元年9月6日～9月7日に「第14回農業総合センターまつり」が開催され、秋晴れのもと子供から大人まで多数の来場者がありました。

本協会では、積極的に活動をしている生産者と協力し、食育ブースとして出展をしました。「養蜂のお仕事」をテーマにミツロウでキャンドル作りを体験してもらいました。

身近な畜産ミツバチと養蜂業、自然環境や生活との関わりなど理解醸成活動を実施しました。

また、うつくしま福島畜産mother'sクラブe-ENでは、

食事コーナーでオリジナル商品「マザーズシチュー」「おもてなしカレー」「牛肉のゴロ煮」を販売、PRしました。

年々、楽しみに来店してくださるお客様も増え、完売となると、「今年は食べてみたかった」と声をかけてくださるお客様もあり、とても励みになりました。イベントへの出展を通じ、お客様とのいろいろな出会いがあり、直接交流できる貴重な機会を増やせるよう、今後も積極的に活動していきたいと思っておりますので、応援よろしく願いいたします！



ミツロウでキャンドル作り



うつくしま福島畜産 mother'sクラブ e-EN からのお知らせ

原材料の高騰や宅配料等全体的なコスト増加のため、令和元年10月1日ご注文分より「マザーズシチュー」を税込700円（現在500円）へ価格を改定いたします。

使用する牛肉については、カレー及びゴロ煮同様、会員限定の牛肉を使用しサービス向上を図りますので何卒ご理解くださるようお願いいたします。

なお、マザーズクラブ商品販売による利益については主に食育の活動に使用することとしておりますことを申し添えます。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつは
いかにが！

子実用トウモロコシの省力的サイレージ調製技術について

福島県農業総合センター畜産研究所飼料環境科

1 はじめに

当研究所では、被災地における営農再開を促進するため、浜通り地方における大規模水田の新たな輪作体系技術の構築や、除染により土壌の物理性等が低下した農地における地力回復等の技術を開発するため、「水稲－大豆－子実用トウモロコシ」の水田輪作体系の確立を目指し現地実証試験を行っています。

昨年度より取り組んでいるマルチコンパクターを活用した子実用トウモロコシのサイレージ調製技術の成果が出ましたので紹介いたします。

2 方法

南相馬市小高区の水田ほ場で栽培した子実用トウモロコシを完熟期（子実の水分は25%程度が目安）に、専用アタッチメントを付けた汎用型コンバインで収穫、フレコンバッグで搬送し調製作業を行いました。トウモロコシ子実をミリングマシン（Peruzzo社製U500）で粉体状（破碎されたトウモロコシの粒が残っている程度）に粉碎し、マルチコンパクター（Orkel社製MC1000）へ投入し、ロールベールラップサイレージに調製しました。

また、調製後1か月目と3か月目に発酵品質並びにカビ毒濃度について調査しました。

3 結果

ミリングマシンの破碎能力は8,750kg/hr、マルチコンパクターの調製能力はロール1個当たり約4分で、1時間当たりの調製可能量は8940kgでした。ロール1個当たりの重量は約600kgでした。

今回の破碎子実の水分は25%～28%ほどでしたが、問

題なく梱包・密封することができ、ロールベールラップサイレージとして調製することができました。また、子実トウモロコシの水分が低いと梱包時ロスが大きくなる傾向がみられました。

発酵品質は1か月目、3か月目ともpH 4、V-SCORE 99点と良好な発酵状態を維持していました。

カビ毒について、デオキシニバレノールはいずれのステージにおいても検出されませんでした。ニバレノールとゼアラレノン是一部完熟期で検出されましたが、それ以外は検出されませんでした。

フモニシンは最低で0.05mg/kg、高いものは4.73mg/kgでした。フモニシンは日本ではまだ基準値はありませんが、EUの基準値である5mg/kgを超えるものはありませんでした。

4 利用にあたっての利点と留意点

子実用トウモロコシを収穫してすぐに調製・密封してしまうため、乾燥コストや貯蔵施設が必要なく、濃厚飼料の自給が可能となるため、コストの削減が可能となります。

また、ロールベールラップサイレージに調製して保管することで、高品質を維持したまま長期保存が可能となります。

ロールベールラップサイレージの保管に際しては鳥獣害対策が必要となります。ロールの下に金網を敷いたり、電気牧柵を設置する、上部にはテグスを張るなどの対策を必ず行ってください。

なお、本試験は、食料生産地域再生のための先端技術展開事業（農林水産省）により実施しました。



乳酸菌添加の様子



調製・密封作業の様子

令和元年度東北地区獣医師大会
市民公開特別講演

演 題 『気づきを築く面白さ』

～動物ものまね芸もたっぷりとお聞かせします～

講 師 演芸家 江戸家 小猫 氏

主 催：公益社団法人福島県獣医師会

- 日 時：令和元年10月10日(木) 午後2時30分～午後4時（開場：午後2時20分）
- 場 所：郡山ビューホテルアネックス 4階 花勝見
〒963-8004 郡山市中町10-10 電話 024-939-1111
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
- 参加料：無料
- お申込み方法（先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。）
電話でお申し込みください。電話番号 024-522-3921
(注意) 土曜日、日曜日、祝祭日を除く、午前9時～午後4時をお願いします。
(なお、留守番電話での受付はいたしません。)

お問い合わせ・お申し込み先

公益社団法人福島県獣医師会事務局

〒960-8043 福島市中町7-17（ふくしま中町会館） TEL 024-522-3921

肉用牛肥育経営安定交付金制度
(牛マルキン制度) 発動状況

(単位：円)

販売月		肉専用種 (福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
平成31年4月	確定単価	—	—	42,722.1
	概算払い単価	—	—	38,722.1
	精算払い単価	—	—	4,000.0
令和元年5月	確定単価	17,066.7	—	30,806.1
	概算払い単価	13,066.7	—	26,806.1
	精算払い単価	4,000.0	—	4,000.0
令和元年6月	確定単価	—	—	31,029.3
令和元年7月	確定単価	—	—	※暫定交付金単価 35,702.1
	概算払い単価	—	—	31,702.1
	精算払い単価	—	—	公表前

※令和元年7月期の交付金単価の確定値については、11月上旬に公表される予定です。

令和元年度畜産物価格

(肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格) (改訂)

消費税率の引上げに伴い、下記のとおり改訂されます。

(単位：円/頭)

		令和元年度 (改定前)	令和元年度 (改定後)
保証基準 価格	黒毛和種	531,000	541,000
	褐色和種	489,000	498,000
	その他の肉専用種	314,000	320,000
	乳用種	161,000	164,000
	交雑種	269,000	274,000
合理化目標 価格	黒毛和種	421,000	429,000
	褐色和種	388,000	395,000
	その他の肉専用種	249,000	253,000
	乳用種	108,000	110,000
	交雑種	212,000	216,000

注 改定後の保証基準価格及び合理化目標価格は、令和元年10月1日から適用する。

肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和元年度第1四半期(平成31年4月～令和元年6月)

(単位：円/頭)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	531,000	489,000	314,000	161,000	269,000
合理化目標価格	421,000	388,000	249,000	108,000	212,000
平均売買価格	781,500	547,700	280,800	239,100	447,400
補給金単価	—	—	33,200	—	—

令和元年度第1四半期においては、「その他の肉専用種」について、生産者補給金が交付されることとなった。

【本県の交付状況】 交付対象頭数 21 頭 交付金額合計 697,200 円

家畜取引状況報告

令和元年7～8月和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
7	雌	295	1,306,800	482,760	748,846	291	2,570	282	119	176
	雄									
	去勢	409	1,190,160	362,880	785,841	315	2,495	277	180	229
	計	704	1,306,800	362,880	770,339	305	2,525	279	299	405
8	雌	296	2,022,840	232,200	741,945	288	2,572	288	122	174
	雄									
	去勢	369	1,296,000	503,280	834,372	313	2,668	313	200	169
	計	665	2,022,840	232,200	793,232	302	2,627	302	322	343

令和元年7～8月乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込み）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格(円)		
			最高	最低	平均
7月 第285回	ホル雄	58	260,280	87,480	198,701
	ホルフリー	1	69,120	69,120	69,120
	F1雌	50	450,360	223,560	374,350
	F1雄	55	509,760	281,880	455,976
	和牛雌	3	584,280	518,400	546,120
	和牛雄	8	704,160	496,800	584,145
	和牛去勢	0			
	計・平均	175	704,160	69,120	352,580
8月 第286回	ホル雄	59	213,840	1,080	98,683
	ホルフリー	1	7,560	7,560	7,560
	F1雌	72	388,800	69,120	310,620
	F1雄	54	419,040	54,000	344,740
	和牛雌	1	453,600	453,600	453,600
	和牛雄	12	586,440	415,800	509,400
	和牛去勢				
	計・平均	199	586,440	1,080	268,225

令和元年7～8月乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
7	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	1	555,120	555,120	555,120	5,188	107
	E T 和雄	5	730,080	528,120	666,792	6,735	99
	乳雌牛	1	91,800	91,800	91,800	1,639	56
	乳雄牛	26	182,520	93,960	144,221	2,148	67
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	31	414,720	147,960	353,717	5,386	66
	F1雄(スモール)	56	498,960	282,960	423,286	5,909	72
	計・平均	120	730,080	91,800	353,331	5,017	71
8	乳登						
	妊娠牛	2	775,000	707,000	741,000		
	E T 和雌	4	522,000	489,000	506,000	5,010	101
	E T 和雄	8	631,000	468,000	568,250	6,421	89
	乳雌牛						
	乳雄牛	21	164,000	5,000	101,952	1,441	71
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	51	316,000	164,000	250,510	3,523	71
	F1雄(スモール)	43	364,000	253,000	308,419	3,975	78
	計・平均	129	775,000	5,000	280,860	3,790	74

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子

福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

◐ 上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040
◐ 下段「オーブス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

		(10月)																														
日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ニュートラック福島		大井 名古屋				浦和 笠松				大井 名古屋				川崎 笠松				盛岡 船橋														
オーブス磐梯		大井 浦和 大井 川崎 大井 川崎 大井 船橋																														
		(11月)																														
日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
ニュートラック福島		浦和 笠松				大井 名古屋				川崎 笠松				浦和 名古屋																		
オーブス磐梯		浦和 浦和 大井 川崎 大井 川崎 大井 浦和																														

※ 発売日程は、変更になることがあります。
地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。

地方競馬全国協会